

福祉サービス第三者評価結果

事業所名 **社会福祉法人追分あけぼの会**
きゃんばす東林間保育園

発効：平成 30 年 3 月 29 日（平成 33 年 3 月 28 日まで有効）

事業所基本事項

フリガナ	キャンパスヒガシリンカンホイクエン
事業所名 (正式名称を記載)	きゃんぱす東林間保育園
事業所種別	保育所
事業所住所 最寄駅	〒252 - 0302 相模原市南区上鶴間4丁目26-4 小田急江ノ島線 東林間駅下車 徒歩 13分
事業所電話番号	042-701-0771
事業所FAX番号	042-701-0772
事業所代表者名	役職名 園長 氏名 勢州谷裕子
法人名及び 法人代表者名	法人名 社会福祉法人 追分あけぼの会 法人代表者氏名 理事長 金子洋文
URL	oiwake-akebono.net
e-mail	h001hr-sagamihara@akebono-kai.or.jp
問合せ対応時間	9:30 ~18:00

事業所の概要1

開設年月日	平成27年4月1日 (認可 平成27年4月1日)
定員数	70名
都市計画法上の用途 地域	第一種低層住居専用地域
建物構造	鉄骨造2階建 準耐火
面積	敷地面積 (633.89) m ² 延床面積 (591.40) m ²

事業所の概要2 (職員の概要)

総職員数	24名
うち、次の職種に該当 する職員数	園長 (1名) 保育士 (14名) 保健師・看護師 (0名) 栄養士 (1名) その他 (事務員0名、調理員4名、その他4名)

事業所の概要3 (受入・利用可能サービスの概要)

受入年齢	生後 8ヶ月～小学校就学未満	
延長保育の実施	有・無	備考：平日 18:00～19:00
休日保育の実施	有・無	備考：
一時保育の実施	有・無	備考：特定保育
障害児保育の実施	有・無	備考：
病後児保育の実施	有・無	備考：

保育の方針

保育理念	共に遊び、共に学び、共に育ち合う
保育方針	養護と教育という両面を重視し、健全な心身を養い、生活の基盤となる習慣や態度を育てると共に、異年齢、世代間、異文化交流を通して、多様性を受け入れられる柔軟な思考、感性と自主性の育成を目指します。
保育目標	「心身ともに健やかな子ども」「感性豊かな子ども」「ありがとうが言える子ども」

1. 総合コメント

総合評価（優れている点、独自に取り組んでいる点、改善を要する点）

保育園の概要：

きゃんぱす東林間保育園は、小田急江ノ島線東林間駅から徒歩 13 分の住宅地にある。北海道に本部のある社会福祉法人追分あけぼの会が運営し、平成 27 年に保育所として認可され開設した。保育が行われている 2 階建の建物では、隣接する園庭が現在拡張工事中である。定員は 70 名だが、調査実施時点での内訳は 0 歳児が 9 名、1 歳児 10 名、2 歳児 12 名、3 歳 13 名、4 歳児 13 名、5 歳児 13 名の計 68 名で、11 名の保育士も含め 20 名の職員により運営されている。保育目標に「心身ともに健やかな子ども 感性豊かな子ども ありがとうと言える子ども」を掲げ、養護と教育という両面を重視し、健全な心身を養い、生活の基盤となる習慣や態度を育てると共に、異年齢、世代間、異文化交流を通して、多様性を受け入れられる柔軟な思考、感性と自主性の育成を目指している。

優れている点・独自に取り組んでいる点：

1. チームによる保育

子どもを前にした保育の場面にあっては、保育士が互いに協力し連携してチームとして保育している。特に、常勤保育士と非常勤保育士が、同じ保育士との立場で協力して保育にあたっている。その結果、保育士と子どもとの落ち着いたやりとりや、子どもの落ち着いた振る舞いにつながっている。保育目標に「ありがとうと言える子ども」を掲げ、職員も含め関係全てにおいて、自然な「ありがとう」との言葉を大切に運営している。

2. 食育計画の見直し

自己評価結果を職員会議で話し合う中で、昨年まで 1 枚の紙に園全体で作成していた食育計画を見直した。今年からは、栄養士が年齢毎に細かく食育計画の原案を作り、保護者に見てもらった上でクラス担任がクラスの現状や子どもの発達状況などを捉えて意見を出し、必要に応じて栄養士、園長交えて話し合い、実効性が期待できる計画を作成し、実施している。

3. 新たな事柄への取組みと工夫

開設後 2 年を経過し、昨年までできなかった子どもによる高齢者施設への訪問を今年は実施、また、今回の第三者評価受審を通じ、マニュアルが不備であることに気づき、早速にマニュアルの整備に着手するなど、一つずつ新たな課題に取り組んでいる。運動会や発表会についても、保護者の感想に耳を傾けながら、園独自の形態を作りつつある。

改善を要する点：

1. 個人情報保護方針の掲示

入園の際に「個人情報の利用目的について」を説明し、「保育園利用に関する個人情報の使用等に係る同意書」を保護者と取り交わしているが、個人情報保護方針が園内に掲示されていない。子どもの保護者のみならず、見学者や関係者に基本的な方針について周知する為に掲示することが期待される。

2. 議事録など書式の整理と整備

職員会議等の会議録について、書式が整備されておらず記録者が工夫しながらノートに記載している。チームで保育している事、また保育園として協議し意思決定しながら運営している事をとらえると、書式の整備が期待される。また、行事などについては、各々の行事毎に記録書式を定めているが、様々な行事や保育について使用できるよう、書式を整理し汎用性のある書式を工夫するなど期待される。事故報告書の書式に、子どもである当事者名を記入する欄がないなど、また、ヒヤリハットのしくみと報告書式が未整備であることなど、工夫が期待される。

3. 緊急時の備え

- ・緊急時に分担し対応する職員名が明記された職員分担表が無いため早急な整備が期待される。
- ・けがが発生した場合の囑託医との連携、家庭への連絡などの対処の仕組みが整備されていない。早急な整備が期待される。
- ・季節的な感染症に関する情報収集や、収集した情報の職員への周知、及び家族への提供の仕組みが整備されていない。手順などの整備が期待される。

評価領域ごとの特記事項	
1	<p>人権への配慮</p> <p>① 接遇に関し「人権尊重マニュアル」などで明文化し、外部講師を招き研修を実施している。外国籍の保護者には、連絡帳にひらがなで記述するなど工夫している。「人権擁護のためのセルフチェックリスト」などを用いて職員間の差別禁止の意識向上を図っている。</p> <p>② 「プライバシーマニュアル」に沿って、個人情報を含む文書・帳票類は、施錠できる部屋および鍵のかかるロッカーで管理している。また、入園時に個人情報の利用目的について説明・確認し、園と保護者間で同意書を交わしている。しかし、個人情報保護に関する方針は、園内に掲示されていない。</p> <p>③ 実習生の受け入れ手順等は「職員研修マニュアル」で明文化しているが、これまでのところ実習生は受け入れていない。中学生の職場体験学習の受け入れに際しては、必ずオリエンテーションでプライバシー保護に関する話をし、注意を促している。</p>
2	<p>利用者の意思・可能性を尊重した自立生活支援</p> <p>① 家庭との連絡、情報交換の手段・方法について「保護者との信頼関係マニュアル」などで明文化している。乳児は複写式の連絡帳を活用し、幼児については必要に応じてノートで情報を共有している。園よりは毎月、クラスよりは年4回発行し、保護者に情報を提供している。</p> <p>② 5月にクラス懇談会を実施し、ほぼすべての保護者が出席している。個人面談は希望者に対して8月に実施しているが、園として面談が必要と判断した家庭に対しては、園から声を掛けている。</p> <p>③ 保護者からの意見や質問については、すぐ答えられる事柄はその場で保育者が口頭で回答することもあるが、すべて園長に報告することになっている。しかし、意見を受付けてから回答するまでの手順は定めていない。</p>
3	<p>サービスマネジメントシステムの確立</p> <p>① 「苦情解決マニュアル 法人苦情解決指針」に沿って、苦情受付担当者名、苦情解決責任者名を明示し、また、受け付けた苦情は手順に基づき速やかに対処している。しかし、苦情解決の取り組み状況は法人の理事会に報告されていない。第三者委員と年2回懇談の機会を設け、サービス改善について話し合っている。</p> <p>② 「環境管理マニュアル 環境整備マニュアル」に沿って、0、1歳児クラスでは、睡眠チェック表に13時の室温と湿度を記録している。「園施設安全点検チェック表」を用いて砂場や布団の消毒、及び安全点検を行っている。</p> <p>③ 「健康管理マニュアル」に沿って、各クラスの「保育日誌」に体調不良の子どもの様子や対応した経過等を記録している。感染症については、各クラスの健康台帳にも記録している。けがが発生した場合の対処の仕組み(囑託医との連携、家庭への連絡など)は、明確になっていない。</p> <p>④ 季節的な感染症の予防・予測のための情報は、市からメールで届いた情報を休憩室に掲示して職員に周知し、注意喚起している。しかし、季節的な感染症を予防、予測するための情報収集・提供の方法や手順は、明確になっていない。</p> <p>⑤ 事故や災害等によりけがや急病などが発生した場合の医療機関および家庭への連絡・連携方法・手順を「危機管理マニュアル」で明文化している。また、月1回防災訓練を実施している。子どもの身の安全の確保を最優先に、専門講師による不審者侵入訓練、およびAEDの実技訓練を各々年1回実施して、緊急時の対応に備えている。</p>
4	<p>地域との交流・連携</p> <p>① 「地域子育て支援マニュアル」に基づき、地域子育て支援の必要性等について職員会議で話し合っている。また、年1回市が実施している保育ウィークでは、園庭を毎日開放、リトミックと親子ふれあい遊びを各1日実施している。来年度以降、園としても園庭開放を実施、子育て相談は今後少しずつ実施していく予定である。</p> <p>② 近隣の保育園および小学校と交流している。「学校へ行こう週間」に5歳児を連れて小学校を訪問し、授業風景を見学している。</p> <p>③ 防火・防災のための地域支援体制については「災害時乳幼児支援ステ</p>

		ーション開設・運営マニュアル（相模原市私立保育園園長会）」で明文化されており、災害ステーション連携 4 園では、災害時の訓練および各園での食糧等の備蓄について話し合っている。
5	運営上の透明性の確保と継続性	<ul style="list-style-type: none"> ① 保育方針（保育目標）を、職員休憩室に掲示している。 ② 全職員が自己評価を実施。集計結果を基に職員会議で話し合った結果、園全体で 1 枚の紙で作成していた食育計画を見直すこととし、クラス毎に栄養士と担任が連携して年齢毎の食育計画を立てている。 ③ 年 1 回保育参観を計画し、参観が可能な 1 週間の各クラス活動予定（晴れの場合と雨の場合の 2 種）も併せて保護者に伝えている。幼児クラスは参加型として実施し、三分の二程度の保護者が参加している。
6	職員の資質向上促進	<ul style="list-style-type: none"> ① 内部研修は年間計画を立て毎月実施している。都度案内される外部研修に関しては、昨年度の実績を参考に計画を立てて受講するようにしている。 ② 外部研修に参加した職員は「研修受講復命書」を作成し、それに基づき伝達研修を実施している。「研修受講復命書」は、事務室で保管し、自由に閲覧できるようになっている。 ③ 実習生の受け入れ・指導要領について「職員研修マニュアル」で規定しているが、受け入れ実績はない。万全な体制を整えてから受け入れる予定である。

2. 評価項目に基づく評価の結果

大項目 1 保育環境の整備

評価機関が定めた評価項目に添って、調査を行った結果です

大項目 1 全体（調査確認事項全 80 事項）を通してのサービスの達成状況	93 %
---------------------------------------	------

大項目 1 の内容(概要)

1	人権の尊重	子どもや保護者に対する態度や言葉遣い 出生や国籍、性差などによる差別の禁止 子どもの虐待予防や早期発見のための地域の関係機関・団体との連携
2	プライバシー確保	プライバシー確保への配慮 個人情報保護の体制整備
3	家庭と保育園との信頼関係の確立	家庭との連絡、情報交換の体制 家庭の意向・希望の把握
4	苦情解決システム	苦情解決の体制整備
5	環境整備	温度や湿度等の管理 洗剤等の危険物の管理 おもちゃ、遊具等の管理
6	健康管理（感染症対策・救急救命を含む）	体調不良児、けがへの対応 感染症への対応 救急事態発生時の医療機関・家族等との連携
7	危機管理（防災・防犯）	火災や震災等の対応 日常の防災・防犯体制の整備
8	地域の子育て支援	地域内の子育てニーズの把握と支援
9	自己評価と情報開示	自己点検・改善活動の実施 地域への情報提供、情報開示 見学や保育参観の機会の設定
10	職員研修	職員研修の実施 実習生の受け入れ、指導

大項目2 保育内容の充実

事業所から自己申告された内容について、事実確認を行った結果です

項目	事業所による取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>子どもと保育士とのかかわりにおいて、子どもの情緒の安定をはかることや、順調な発育・発達を促すためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>① 子ども一人ひとりの感情を受け止め、欲求を満たしつつ、信頼関係を築き、安定して過ごせるようにしている。</p> <p>② 子ども一人ひとりの背景や保護者の状況を理解し、適切な対応をしている。</p> <p>③ 月に1回必ず、乳幼児会議・職員会議を実施し、子どもの状況・配慮について職員全員で確認し、共通理解の基対応している。</p>	<p>① 子ども一人ひとりの感情を受け止め、安定して過ごせるよう保育していることを、「保育日誌 きりん組」で確認した。昼食時に、保育者が子ども同士がおしゃべりをしたい気持ちを受け止めつつ、声かけし食べることに集中するよう促していることを観察で確認した。</p> <p>② 慣らし保育が終わり保育時間が長くなった子どもの状況や、第二子を出産した保護者の状況を理解した上で、子どもに声掛けしていることを、「連絡帳」、「保育日誌 ぱんだ組」で確認した。</p> <p>③ 0,1,2歳のクラスを担当する常勤保育士による乳児会議が毎月開催されていることを、「乳児ノート(乳児会議議事録)」で確認した。</p>
<p>子ども同士のかかわりにおいて、個の違いを認めあうことや他者と自分を大切にすることを育てるためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>① 子ども同士の関わりの中で、自分と他者との思いや考え方の違いがあることを、見守りや声をかけることで気づけるようにしている。</p> <p>② 毎月誕生会を実施するなど、友だちをお祝いする気持ちや思いやりの心が育つようにしている。</p> <p>③ 友だちと一緒に遊ぶ中で、自分たちで話し合い、協力しながら遊びが発展できるようにしている。</p>	<p>① 他児との距離感がつかめない様子に、仲立ちしながら保育していることを、「保育日誌 きりん組」で確認した。相手の気持ちを考えられず行ってしまう子どもに対し、相手の気持ちを代弁しながら保育していることを、「保育日誌 きりん組」で確認した。</p> <p>② 毎月の誕生会で、友だちをお祝いする気持ちを育めるよう保育していることを、「保育日誌 ぱんだ組」で確認した。</p> <p>③ 子ども同士話し合っごっこ遊びや、遊びの内容を決めていることを、「保育日誌 りす組」、「保育日誌 3・4・5歳合同保育」で確認した。昼食後に、子ども同士がブロック遊びをしながら何を作るか話し合いながら決めていくことを観察で確認した。</p>
<p>子どもと社会とのかかわりにおいて、人に役立つことの喜びを感じたり、人と関わることの楽しさを味わうことができるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>① 散歩を通して地域の方々と挨拶を交わしたり、公園などで地域の子どもの関わりを楽しめるようにしている。</p> <p>② 近隣の保育園や小学校との交流の中で、親しみを持って関わる機会を大切にしている。</p> <p>③ 高齢者施設を訪問し、歌を歌うなど交流し、高齢者と関わることの楽しさや役に立つ喜びを感じられる機会を持っている。</p>	<p>① 散歩中に、保育士自らすれちがう方に挨拶を行うなかで、子ども達が挨拶をすることを「保育日誌 あひる組」で確認した。園近隣の散歩でよく行く公園の様子を観察で確認した。</p> <p>② 近隣の他保育園が来園し交流を持つなかで、遊びに誘うなど子ども同士が関わる機会を持っていることを、「保育日誌 ぱんだ組」で確認した。</p> <p>③ 法人理事長が別途経営している有料老人ホームを4歳児及び5歳児が訪問し交流を深めた事を「行事報告書」で確認した。</p>

項目	事業所による取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>生活や遊びなどを通して、言葉のやりとりを楽しめるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>① 日常生活での挨拶や生活や遊びに必要な言葉を伝えている。</p> <p>② 生活や遊びの中に、言葉のやりとりが楽しめるような絵本や遊び、視聴覚教材を取り入れている。</p> <p>③ 行事の前には、子ども達が期待できるような会話を心がけている。</p>	<p>① 散歩中に、保育士がすれちがう方への挨拶を見て子ども達が挨拶をしたことを「保育日誌 ぱんだ組」で確認した。1歳児の給食の際に、手を合わせるようになったことを「保育日誌 あひる組」で確認した。昼食時に、当番さんの声掛けで「いただきます」と挨拶して食事を開始していることを観察で確認した。</p> <p>② 子どもが、絵本を読む保育者の真似をして楽しんだことを、「保育日誌 あひる組」で確認した。何種類もの紙芝居が用意されていることを観察で確認した。</p> <p>③ クラス毎の帰りの会で、運動会の本番に皆でできるようになるのを楽しみにしていることなど保育者と子どもが話していることを、「保育日誌 りす組」で確認した。</p>
<p>生活や遊びなどを通して、話すこと・聞くことが楽しめることや言葉の感覚が豊かになること、自分の伝えたいことが相手に伝わる喜びを味わうことができるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>① 読み聞かせや、子ども達が自由に手に取れるように絵本棚を設置し、様々な言葉に親しみが持てるような環境を整えている。</p> <p>② 自分の思いや体験など、人前で発表したり聞いたりできる場を設けている。</p> <p>③ 子どもの話に耳を傾け、優しく受け止め、共感し話したい気持ちを大切にしている。</p>	<p>① 絵本を取り出し、子ども同士で読み合っていることを、「保育日誌 ぱんだ組」で確認した。各クラスに絵本棚が設置され、そのクラスの子どもの年齢に応じた絵本が準備されていることを観察で確認した。</p> <p>② 朝の会で、人前で発表したりお話をきちんと聞く事ができたことを、「保育日誌 ぱんだ組」で確認した。</p> <p>③ 「〇〇ちゃん、何作ったの」と聞かれ、みんなに作ったものを見せて説明している様子を「保育日誌 きりん組」で確認した。</p>
<p>生活や遊びなどを通して、楽しんで表現することができるようにすることや表現したい気持ちを育むためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>① 普段の生活の中で季節の歌を歌ったり、楽しく体を動かせるように毎朝の体操を取り入れている。</p> <p>② リトミックを通して、音に興味を持ち表現することを楽しめるようにしている。</p> <p>③ 当番活動を通して、その日の散歩や活動の様子を、皆んなの前で発表している。</p>	<p>① 季節の歌をうたい楽しんでいること、誕生会でキラキラ星などを歌っていることを、「保育日誌 りす組」で確認した。</p> <p>② リトミックで、子どもが音に合わせて体を動かしたり馬になってハイハイしたり、立ち止ったりしていることを、「保育日誌 あひる組」で確認した。リトミックで使う鈴などの楽器が用意されていることを観察で確認した。</p> <p>③ 散歩での様子など、当番さんが発表していることを、「保育日誌 ぱんだ組」で確認した。各クラスに、手作りの「お当番カード」が掲示されていることを観察で確認した。</p>

項目	事業所による取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>生活や遊びなどを通して、自発的に表現する意欲を育むことやみんなと一緒に表現する喜びを味わえるようにすること、創造的に表現することができるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>① ブロックやままごと、ごっこ遊びなど子どもの自発的に表現する意欲を育み、子ども同士共有しながら遊ぶ喜びを味わえるような環境を整えている。</p> <p>② 運動会や発表会を通して、みんなで一つのものを作り上げていくことの喜びを持てるように取り組んでいる。</p> <p>③ 廃材など色々な素材に触れ、それを使い、自由に創造的な表現ができるような機会を設けている。</p>	<p>① ブロック遊びなど好きな遊びを見つけ、友だちと楽しんでいることを、「保育日誌 ぱんだ組」で確認した。各クラスにコーナーが工夫して作られているのを観察で確認した。</p> <p>② 運動会の出し物である遊戯の練習で、子ども達が自分達で頑張ろうとする姿があったことを、「保育日誌 ぱんだ組」で確認した。</p> <p>③ 廃材を選びながら、子ども自身で考えたものを立体にして作ったことを、「保育日誌 ぱんだ組」で確認した。教材庫に、作品作りで使う段ボールなどの廃材が準備されていることを観察で確認した。</p>
<p>生活や遊びなどを通して、聞く・見るなど感覚の働きを豊かにすることや身体を動かす楽しさを味わうこと、身近なものに対する興味や関心を引き出すためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>① 日常的に体操を取り入れ、リトミックや運動遊びを通して、体を動かす楽しさを伝えている。</p> <p>② 季節の行事を実施し、日本古来の文化に触れる機会を設けている。</p> <p>③ 絵本や紙芝居、パネルシアターなど視聴覚教材を見たり、聞いたりして豊かなイメージを育てている。</p>	<p>① リトミックで音を聞いて体を動かしたり、運動会の練習で台に登ったりしたことを、「保育日誌 きりん組」で確認した。運動会の駆けっこの練習でホールを走ったり、鬼ごっこで走り回ったことを、「連絡帳」で確認した。園庭の様子と、現在倍近くに園庭を広げる工事をしていることを観察で確認した。</p> <p>② こどもの日に鯉のぼりの歌を歌ったり、七夕集会で由来を聞いたりしたことを、「保育日誌 りす組」で確認した。こどもの日の実施内容を「行事の記録 こどもの日」で確認した。</p> <p>③ 散歩先の公園で、保育士が持つねこじゃらしを触って喜んだことを、「保育日誌 ひよこ組」で確認した。教材庫に絵本、紙芝居、パネルシアターなど視聴覚教材が準備されているのを観察で確認した。</p>
<p>生活や遊びなどを通して、身近な様々なものに対する探索意欲を満足させることや社会や自然の事象や、動植物への興味や関心をもてるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>① 散歩や遠足を通して、沢山自然に触れ、探究心や感性を育てるようにしている。</p> <p>② 野菜の苗を植え、育てていく様子を見たり、世話をすることで植物への興味や関心を育てている。</p> <p>③ カブトムシや蝶のさなぎを飼育することで命の大切さを育てている。</p>	<p>① 散歩先で桜の花びらが散っている様子を見て喜んでいることを、また、トカゲやてんとう虫など小さな動物や虫を見つけ、友だち同士で見せ合ったことを、「保育日誌 ぱんだ組」で確認した。</p> <p>② 保育士の野菜クイズで興味を持ち、ピーマンときゅうり、トマトの苗を植えたことを、「保育日誌 ぱんだ組」で確認した。野菜の花が咲き観察したことを、「保育日誌 きりん組」で確認した。訪問調査当日は、季節外れの為、野菜の栽培は確認できなかった。</p> <p>③ ちょうちよが羽化したことに興味を示したことを、「保育日誌 きりん組」で確認した。訪問調査当日は、季節外れの為、カマキリや青虫を飼っている様子を確認できなかった。</p>

項目	事業所による取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>自分から食べようとする意欲を育んだり、排泄をしようとする意欲を育むためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>① 個人差や体調（食欲）に応じて量を調整し、子どもが完食できたという満足感を味わえるようにしている。</p> <p>② フォークや箸など成長に合った食具を使えるよう配慮したり、子ども達と一緒に毎日の献立を確認することで、意欲的に食べることができるようにしている。</p> <p>③ トイレは、個々の成長に合わせて声かけをし、排泄の成功体験を重ねることで、自らトイレに行こうとする意欲が持てるようにしている。</p>	<p>① 食欲があまりない3歳児の量を調整し、半分は食べることができたことを、「保育日誌りす組」で確認した。時間内に完食したことで自信につながったことを、「保育日誌りす組」で確認した。子どもが各々自分で食べられる量を保育士と確認しながら食事を受け取っていることを観察で確認した。</p> <p>② 箸の使用が難しく、自分でスプーンで食べたいと話す子どもの気持ちをとらえ、対応したことを、「保育日誌りす組」で確認した。</p> <p>③ トイレに誘ったり、またオムツでする中でトイレで排泄することが多くなったことを、「保育日誌ひよこ組」で確認した。トイレの壁に機関車トーマスのシールが、また、2歳児が並んで待てるようにトイレ近くの壁に線路のシールが貼ってあることを観察で確認した。</p>
<p>身の回りのことを自分でしようとする意欲を育むことや基本的な生活習慣を身につけること、食事や休息の大切さを理解することができるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>① 生活を通して食事や休息、水分補給の大切さを伝え、意識できるようにしています。</p> <p>② 一人ひとりの発達をふまえ、身の回りの事を自分でしようとする意欲を大切にしながら、適切な援助をし、基本的な生活習慣を身につけられるようにする。また、職員会議を通し職員間で共通理解しています。</p> <p>③ 子どもに基本的な生活習慣を伝えると共に、家庭でも同じように取り組めるように、懇談会や個人面談、おたより等で情報交換や情報提供をしている。</p>	<p>① バランス良く食べる大切さについて子どもに話す時に用いている「赤の食べ物、緑の食べ物、黄色の食べ物の3要素」の図が、各クラスの壁に貼ってあるのを観察で確認した。</p> <p>② 自分で靴下を履いたり帽子をかぶろうとし、保育士が手伝いながらできたことを、「保育日誌あひる組」で確認した。午睡の前にパジャマに着替え、脱いだ衣服を自分で畳んでいることを観察で確認した。</p> <p>③ 食事の後、下膳をして床や机など自分の身の回りをきれいにしていることを、「保育日誌ぱんだ組」「きりん組クラスノート」で確認した。昼食後に下膳し、自分のテーブルを拭いていることを観察で確認した。</p>

大項目3 保育園の特徴

事業所から自己申告された内容について、事実確認を行った結果です

項目	事業所による特徴的取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>子どもの豊かな心と身体をはぐくむための特徴的な取り組みについて説明してください</p>	<p>① 散歩を通して、季節の移り変わりを感じたり、自然に触れる機会を取り入れている。</p> <p>② 異年齢での活動を通して一緒に過ごす中で、自主性や思いやりの気持ちが持てるようにしている。</p> <p>③ 年齢に応じて、身近な場所を自分できれいにする嬉しさや、きれいになった実感が味わえるようにしている。</p>	<p>① 散歩で柿やどんぐりを見つけ、嬉しそうだったことを、「保育日誌 うさぎ組」で確認した。</p> <p>② 仮装をした子どもに0歳児が驚いた様子を見て、幼児が優しく声を掛けたり手をつないだり思いやる姿があったことを、「保育日誌 3・4・5歳合同保育」で確認した。訪問調査当日は、異年齢での活動は実施しておらず、確認することが出来なかった。</p> <p>③ 好きな絵本を読んだ後、絵本棚を綺麗に整頓し、次回絵本を取り出せるように、当番さんが中心となり整理整頓を自分たちで行なっていることを、「保育日誌 パンダ組」で確認した。クラスの絵本棚が整理整頓されていることを観察で確認した。</p>
<p>保育環境に特別な配慮を必要とする子ども（長時間保育、障害児保育、乳児保育、外国籍園児）の保育に関する特徴的な取り組みについて説明してください</p>	<p>① 長時間保育では、異年齢児との関わりを見守りながら、ゆったりと落ち着いた雰囲気の中で過ごせるようにしている。</p> <p>② 配慮を要する子どもについては、職員会議等を通して、職員が共通理解を図り、その子に合った関わりをしている。</p> <p>③ 乳児保育では、家庭と連携を取りながら、生活リズムを把握し個々の成長発達に合わせて保育をしている。</p>	<p>① 19時までの延長保育を実施していることを、「延長保育日誌」で確認した。延長保育の部屋に移り、保育者が「〇〇さん」と笑顔で子どものフルネームで点呼していることを観察で確認した。</p> <p>② 座っている事が多く、声かけしても行動に移れない子どもについて、保護者面談で園と家庭での様子について話し合っていることを「保護者面談の記録」で確認した。クラスの中で、活動の切り替えが難しい様子の子どものそばで、保育者が見守りながら保育していることを観察で確認した。</p> <p>③ 乳児保育で、連絡帳で生活リズムを把握しながら、家庭と連携し保育していることを、「連絡帳」で確認した。</p>
<p>健康管理に特別な配慮を必要とする子ども（アレルギー疾患をもつ園児、乳児保育、病後時保育など）の保育に関する特徴的な取り組み（アレルギー食対応、個別食、離乳食など）について説明してください</p>	<p>① アレルギーについては、医師の生活管理指導表とアレルギーマニュアルに基づいて除去食を提供している。</p> <p>② 離乳食は、定期的に家庭と連絡を取り、個々の成長に合わせて調理員とも連携を取りながら提供している。</p> <p>③ 園児の体調を送迎時に保護者と連絡し合うようにし、体調不良の時は職員間で周知・把握し、室内で静かに過ごしたり、水分補給をこまめに行い対応している。</p>	<p>① アレルギーについて、医師に確認していることを「保育所等における食物アレルギー疾患生活管理指導表」で確認した。献立表にアレルギー対応についても書いてあることを「給食献立表」で確認した。訪問調査時は除去の必要はないメニューだったので、調理員が除去が無い旨を保育者に伝え、除去食に用いているのと同様のトレーで食事を渡していることを観察で確認した。</p> <p>② 保護者に離乳食の内容に関するメモを渡し確認していることを「離乳食経験表」、「連絡帳」で確認した。4種類の離乳食を準備し提供していることを「(離乳食)献立一覧表」で確認した。中期の離乳食を2人の子どもに提供していることを観察で確認した。</p> <p>③ 乳児については、毎日2回朝と午後に検温していることを「生活表(あひる組)」で確認した。各クラスに体温計が準備されていることを観察で確認した。</p>

項目	事業所による特徴的取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>食に関しての特徴的な取り組みについて説明してください</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 栄養士と連携し、年間食育計画を作成し、野菜の栽培や収穫をするなど、食べ物に興味や関心を持てるようにしている。 ② 年に1回給食試食会を通して、家庭での食生活の相談にのり、アドバイスをするようにしている。 ③ 幼児クラスは、子どもと一緒に給食の準備を行ったり、配膳・下膳も行う事で食への意欲が持てるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ① トウモロコシの皮をむき、折紙製作でトウモロコシを折ったこと、実ったピーマンの観察画をクレヨンで描いた後収穫したことを、「保育日誌 きりん組」で確認した。今年から、年齢毎に原案を作り、保護者確認の上で、クラス担任と栄養士、園長により作成した食育計画を「食育計画書」で確認した。 ② 年に1回給食試食会を実施していることを、「ぱんだぐみだより」、「保育参観日程表」、「給食試食会」で確認した。 ③ 自分たちで食事を配膳し、食事の後に下善をして床や机など自分の身の回りもきれいにしていることを、「保育日誌 ぱんだ組」で確認した。昼食時に、子どもが自分たちで配膳し、食べ終わったら下膳し、自分のテーブルを拭いていることを観察で確認した。
<p>家庭とのコミュニケーションに関しての特徴的な取り組みについて説明してください</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 園だよりやクラスだよりをを発行し、園での様子を知らせている。また、乳児クラスは連絡帳、幼児クラスはボードで毎日の保育の様子を伝え、お迎え時など口頭で伝えることで、保護者とのコミュニケーションをとっている。 ② 懇談会や個人面談などで、家庭とのやり取りを密に連携をとるようにしている。 ③ 保育参観で日々の保育の様子、運動会や発表会で頑張っている子どもの姿を見ていただくことで、子ども達の成長を共に喜び合えるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 園だよりやクラスだよりを発行し、園での様子を知らせていることを、「園だより」、「うさぎだより」で確認した。乳児クラスは連絡帳、幼児クラスはボードで毎日の保育の様子を伝えていることを、「連絡帳」で確認した。幼児クラスに、毎日の様子を伝えるボードが設置されていることを観察で確認した。 ② 懇談会を開催していることを、「クラス懇談会報告」、「保護者会 きりん組」で確認した。個人面談を実施していることを、「個人面談4歳」で確認した。 ③ 保育参観で、保護者に日々の保育の様子を見てもらったことを、「保育日誌 ぱんだ組」、「保育参観日程表」で確認した。
<p>地域の子育て支援に関しての特徴的な取り組みについて説明してください</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 一時保育や特定保育を利用させていただくことで、育児不安の解消や保護者がリフレッシュする時間をつくれるようにしている。 ② 保育ウィーク（園庭開放含む）を行う事で、地域の親子とコミュニケーションがとれるようにしている。 ③ 見学に訪れた際の相談や、卒園生の行事への招待など、地域との繋がりを図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 一時保育を実施している事を、「一時保育料金表」「一時保育事業利用状況報告書」で確認した。訪問調査当日は、一時保育の希望がなく実施されていなかった。 ② 保育ウィーク（園庭開放含む）を実施していることを、「保育ウィーク参加感想」で確認した。相模原市の制度として実施されていることを「保育ウィーク開催事業調査票」、「保育ウィーク実施状況等報告書」で確認した。また実施の様子を「保育ウィーク感想」で確認した。 ③ 卒園生に園での行事に招待していることを「なつまつり ごあんない」で確認した。見学者を受入れている事を「見学者名」で確認した。

3. 利用者への調査

～ 保護者アンケート調査を実施した結果です ～

(1) 調査の状況

調査期間	平成 29 年 9 月 10 日 ～ 平成 29 年 10 月 10 日
調査方法	所定の調査票（アンケート票）により実施した。
調査対象者の匿名化	調査は無記名で行い、調査結果から回答について個人が特定化される場合は、評価機関で匿名化を図った。
アンケート調査票の配布	対象者には事業所を經由して調査票を配布した。
アンケート調査票の回収	記入済みの調査票は対象者から直接、評価機関に郵送された。
回収の状況	調査票配布数 57 通 : 返送通数 32 通 : 回収率 56.1%

(2) 調査結果の傾向

◆アンケート調査全体の傾向

- 園の保育方針、保育内容について、「知っている」93.8%、「知らない」が6.3%となっている。
- お子さんの個別の事情（アレルギー・家庭の事情）について、「相談しやすい」65.6%、「やや相談しにくい」「相談しにくい」合わせて9.4%となっている。
- 遊具の清潔や安全面の配慮について、「配慮が感じられる」81.3%に対し、「少し心配がある」15.6%、「心配がある」0%となっている。
- 不審者侵入防止などの防犯対策について、「安心が感じられる」37.5%に対し、「少し心配がある」40.6%、「心配がある」18.8%となっている。
- 事故や災害時の連絡体制について、「安心が感じられる」65.6%に対し、「少し心配がある」28.1%、「心配がある」3.1%となっている。

○園の良い点の自由記述は 61 件あり、「環境面では雰囲気良く、明るい保育園」「園舎が新しくきれい」「2 階のホールが開放的」「駐車場に警備員がいて安心」「保育内容は、リトミックや英語など専門の先生がいる」「子どもの自主性を少しずつ伸ばしてくれている」「いけないことをした時は、きちんと叱ってくれる」「イベントも楽しみ」「おやつ給食は、イベント毎に手の込んだ給食などを提供してくれる」「先生方は、担任の先生以外にも、子どもたちや保護者に声をかけてくれる。大変信頼できる」等があげられている。

○改善して欲しい点の自由記述は 43 件あり、「防犯対策をもっとちゃんとしてほしい」「門が開まりにくく開いたままになっていることが多い」「入園証を活用していない」「自転車置き場が狭い」「保育内容では、もっと外遊びを増やしてほしい」「土や自然に触れる体験をさせてほしい」「行事の通知などもう少し早く知らせてほしい」「保護者同士交流する機会が欲しい」等があげられている。

○その他の自由記述は 16 件あり、「大満足の保育園です。子どもが毎日楽しく登園している」「精神的につらい時期に、担任に相談した際気遣って頂き、気持ち楽になった」「運動会を外でやってほしい」「保護者アンケートに関する園からの回答が欲しい」「パトカーが毎朝駐車場に止まっていた時があったが保護者への説明がなかった」等の記入があった。